

おわりに

日本の干潟は、九州では有明海の干潟が有名であるが、都市の中にある干潟としては、北九州の曾根干潟、福岡市の和白干潟、今津干潟が有名である。昔は食料増産のため、干拓事業により水田として利用されてきたが、近年は都心の発展に伴い、空港港湾機能用地、工業用地、商業用地などの都市機能を補完するための開発が進められている。

日本では平成9年6月に環境影響評価法が制定され、開発に際し、公害の防止および自然環境の保全を図ることが求められたが、自然環境については、その数量化が難しく、定性的な評価にとどまっていた。

地球上では生命誕生以来、多様な生物が生まれてきた。特にユーラシア大陸の東端に位置し、寒帯から亜熱帯までである日本では、地域ごとに特有の生物が存在する。そのため、都市の生活環境はもとより地域特有の自然環境に関する情報を集め、できるだけ客観的・定量的な評価を行うことが重要である。

本書は、特に曾根干潟を中心とした環境情報を一元的に網羅的に見ることができるとして、定量研が収集した多くの情報をまとめ、可能な限り定量的な評価を行ったものであり、北九州市の曾根干潟を中心とした持続可能な地域の発展に少しでも寄与することを願います。

最後に、本図書の完成に至るにあたって、これまでご指導・ご支援をいただきました皆様に深く感謝し、以下にお名前を挙げさせていただきます。

定量研名誉会員：本研究会初代代表の小野勇一氏〔九州大学名誉教授〕、初代副代表の岡本久人氏〔九州国際大学次世代システム研究所所長（在籍時）〕、森本嘉人氏〔日本野鳥の会北九州支部長（在籍時）〕、岡田 徹氏〔日本野鳥の会前北九州支部長（在籍時）〕、奥田哲也氏〔（有）オクト環境〕。なお、奥田氏は本書執筆途中に病に倒れ、本書の完成を見ることなく他界された。

定量研元会員：小野原一氏〔環境テクノス（株）（在籍時）〕、酒井奈美氏〔西日本技術開発（株）〕、原喜則氏〔（株）三洋コンサルタント（在籍時）〕

調査・研究アドバイザー：嶺井久勝氏〔元九州大学大学院農学研究員助手〕、新井章吾氏〔海藻研究所所長〕、中山裕文氏〔九州大学工学研究院環境社会部門教授〕

現地調査協力者（過去10年間で複数回協力された方）：椿賢太氏・堀田剛広〔西日本技術（株）〕、倉持雅彦氏・太田琴子氏・片山理恵氏・凌千恵氏〔（株）エコー〕、福留真樹氏・手嶋孝司氏〔環境テクノス（株）〕

資料提供者：北九州市環境局、同経済産業局、同上下水道局、福岡県農林水産部水産局漁業管理課

助成金・補助金提供者：（財）河川環境管理財団（河川整備基金助成）、（株）エヌエスウインドパワーひびき（みなとや海辺の活動支援）、北九州市港湾局（みなとや海辺の親しみ創出事業補助）、（一財）みなと総合研究財団（未来のみなとづくり助成）、北九州市環境局（自然環境保全活動支援事業補助）

以上

NPO 法人 自然環境定量評価研究会

副会長 馬場崎 正博

NPO 法人 自然環境定量評価研究会メンバーおよび執筆者一覧

氏名	役職	所属 ※(主な職歴)
小島 治幸	会長	九州共立大学名誉教授
馬場崎 正博	副会長	NPO 法人エコネットふくおか理事長 (福岡市保健環境研究所所長)
岩本 浩	理事	岩本浩技術士事務所 (環境テクノス株式会社)
奥田 哲也	元理事	有限会社オクト環境
高比良 光治	理事	一般財団法人九州環境管理協会
中野 敦	理事・会計	日鉄テクノロジー株式会社
伊藤 陽	理事	株式会社三洋コンサルタント
山内 鋭司	監事	(国際航業株式会社・アジア航測株式会社)
町田 実	会員	(株式会社日立製作所)
宇野 潔	会員	一般財団法人九州環境管理協会
片山 悦治郎	会員	パシフィックコンサルタンツ株式会社
小濱 智之	会員	パシフィックコンサルタンツ株式会社
恒岡 徹	会員	パシフィックコンサルタンツ株式会社
平山 直樹	会員	北九州市環境局
山本 千裕	会員	(福岡県水産海洋技術センター長)
吉田 知世	会員	国際航業株式会社
大井 和之	共同研究者	一般財団法人九州環境管理協会
貞末 加織	共同研究者	一般財団法人九州環境管理協会

※所属は、研究に関わった当時または執筆時のもの。

—NPO 法人自然環境定量評価研究会 設立 25 周年記念誌—

曾根干潟 測り・学び・伝える

—泥んこ研究者たちの記録—

2026 年 3 月 31 日 初版発行

編者：高比良光治・小島治幸・岩本 浩・中野 敦・町田 実

表紙：宇野 潔

発行者：小島治幸

発行所：NPO 法人自然環境定量評価研究会

〒800-0233 福岡県北九州市小倉南区朽網西四丁目27番1号

TEL: 090-4999-4531 <http://www.teiryoken.jp/>



NPO 法人
自然環境定量評価研究会